

令和6年度の重点課題

○男子は運動やスポーツをすることが「嫌い」だと回答した児童が6.25%いる。  
 ○男子は握力が全国・県平均を下回っている。  
 ○女子は上体起こし、20mシャトルラン、ソフトボール投げ以外の項目は全国・県平均を下回っている。  
 ○校舎建て替えにともなって、グラウンドが大幅に縮小されるため、全体の児童の運動不足が考えられる。まずは運動量を確保するための取り組みを進める必要がある。

上記の課題を受けて具体的に取組んだ事項

○ 長期休業中で縄跳びに取り組みせ、体づくりを行った。  
 ○ 体育の導入では、楽しみながら走力向上を図るため、おにごっこやしっぽとりおにごっこ等の、遊びを取り入れた運動を行った。  
 ○ ねこちゃん体操の掲示をし、体づくり運動を学年に応じて取り組んだ。  
 ○ 体育委員会で、運動不足を解消するために体を動かしてみんなで遊ぶイベントを行った。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.86	17.04	30.62	41.11	39.89	10.29	150.21	17.00	47.39	第5学年	16.13	15.53	34.47	36.93	24.60	10.31	142.87	11.40	48.50

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
第5学年	14.86	17.04	30.62	41.11	39.89	10.29	150.21	17.00	47.39	第5学年	16.13	15.53	34.47	36.93	24.60	10.31	142.87	11.40	48.50

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

男子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	女子	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
第5学年	67.86	21.43	10.71	0.00	第5学年	53.33	20.00	20.00	6.67

学校独自の意識調査

○体育の授業はとても楽しいと回答した児童が65.8%であった。  
 ○「何が楽しいのか」の問いに対して、「ボールを使う運動」、「走る運動」と回答する児童が多かった。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○準備体操の後、体ほぐし・体づくり運動を2、3個継続して取り入れる。  
 ・おにごっこ(走力)  
 ・アザラン(筋力)  
 ・だるまころがり(体幹・筋力・バランス)  
 ・Vバランス(筋力・柔軟性)

○主運動につながる運動、体づくり運動を取り入れる。  
 【例】  
 ・器械運動→ ねこちゃん体操・手押し車・コンパス・だるまころがりなど  
 ・リレー・ハードル走→ 足ジャンケン・スキップ・ギャロップ・ミニハードルなど  
 ・縄跳び・高跳び→ ケンパーとびなど  
 ・ボール運動→ 鳥かご・ばちばちキャッチ・コロコロバスなど

体育の授業以外で行う取組内容

○体育委員会で、運動不足解消のためのイベントを企画する。  
 ○全児童を対象とした意識調査を実施、授業改善をはかる。  
 ○全校でなわとびに取り組む。

重点課題

情意面での課題

○ 男子  
 ・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が67.86%である。(前年比13.39%↓)  
 ○ 女子  
 ・運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合が53.33%である。(前年比41.11%↓)

体力面での課題

○ 男子  
 ・「反復横跳び」以外が県平均値かつ全国平均値より低い。  
 ○ 女子  
 ・「握力」以外が県平均値かつ全国平均値より低い。  
 ○校舎建て替えにともなうグラウンド整備、遊具の設置工事、体育館の改修等により、運動場所が縮小されるため、全体の児童の運動不足が考えられる。

令和8年度の重点目標値

○ 運動やスポーツをすることが好きと答える児童の割合を、男子は70%、女子は60%にする。  
 ○ 「上体起こし」を県平均値以上にする。  
 ○ 全体的に令和7年度の学校平均を下回らないようにする。